

# 杉山あつしだより

皆さんの声を県政に！



発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）  
第13号（2022年7月1日発行）

静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13  
電話 054-282-1043 FAX 054-282-0143

## ご挨拶

5月20日に開催された臨時県議会において、今年度の厚生委員会所属が決まりました。この間、総務、産業、文教警察委員会などを経験、今回の厚生委員会は、県職員時代に所属していた健康福祉部及びがんセンター局を所管する委員会です。現場の意見をくみ上げ質問していきます。

最近のニュースでは、「給付金詐欺」と「物価高・生活直撃」が盛んに取り上げられています。給付金詐欺はコロナ禍当初に制度化された「持続化給付金」で起こりました。当時は迅速な給付を優先していたため、不正の温床となってしまいました。しかし、悪いのは詐欺の実行者であり、迅速な給付は必要でした。

今回の物価高は、直接的にはアメリカなど世界規模の物価上昇と金利引上げ、一方で日本は「異次元の金融緩和」を続けており、日米の金利格差により生じた円安も主要因です。政府や日本銀行の政策は、物価の計画的上昇を狙ったものであり、円安に加えロシアの軍事侵攻により穀物や燃料の高騰で、一気に物価高が進みました。物価高は政策の副産物であり、予期せぬ要因によって拡大したものといます。燃料費高騰に対しては、長期的に消費量を減らす省エネルギーを政府が率先して呼びかけるべきではないでしょうか。政府には物価高騰対策の早期実施を求め、県レベルでも物価対策の必要性も訴えます。

当選以来毎週3回の早朝街頭宣伝活動を続け、県政便りも議会の都度発行してきました。「世の中を少しでも良くしていきたい」との初心を忘れず、また1期目最後の年であることを自覚し、全力で活動していきます。

静岡県議会議員 杉山あつし

## 物価対策「待ったなし」



週3回の県政報告  
新調したのぼりを前に

## 厚生委員会 報告(6月27日)

- ・子宮頸がんワクチンの積極的勧奨の問題点、副反応での治療病院の必要性
- ・医療従事者の処遇改善の実効性、県立病院機構の賃金カーブ引下げの是非
- ・県立病院機構の決算上での賃金引下げの影響
- ・放課後デイサービスの運営の適正化、新規参入の見込み
- ・3回目ワクチン接種の有効性、1歳以下のワクチン接種の是非
- ・出会いサポートセンターの効果。がんセンターの現状、局長と総長の関係

## ●熱海市土石流現場視察(5/27)

所属会派の熱海市土石流災害の現場視察を実施。前日に静岡県側からの説明を受けた後、土石流現場の現状や課題について橋本一実熱海市議と意見交換を行いました。

当日は、熱海市役所にて土石流災害に関する説明を市から受けた後、現地入り。最も被害の多い国道沿いのビル付近と盛土現場を視察。土砂は撤去されていますが、更地が多く、復興にはまだ時間がかかります。県及び市の行政間のやり取りをはじめ、まずは全容を明らかにしていく必要があります。



熱海土石流災害現場

## ●「このままでいいの?地域防災の未来」を開催(5/28)



川勝知事へ直接報告(知事室)

政策形成プロジェクトのテーマのひとつ「女性も担う静岡の地域防災」の中間まとめ的集会として、シンポジウム「このままでいいの?地域防災の未来」を開催。集会に向けて3カ月間、池田恵子静岡大学教授、落合恵美子御前崎災害支援ネットワーク代表らと準備をすすめ、当日は140人の方が参加。岩手県陸前高田市、宮城県仙台市からの参加者もいました。①地域防災の役員に女性が就いていない、②女性防災リーダーが地域の自主防災組織にかかわれない、③自主防災のあり方・自主防災役員の選出の仕組みを変える必要性などを改めて確認。多くの女性自治体議員も参加。熱心な女性の皆さんから元気をいただきました。6月3日に集約したまとめ報告・提言を共同代表の池田恵子さん、落合美恵子さんとともに川勝県知事に直接手渡し、報告することができました。

## ●浜岡原発に関する県要請に同席(3/22)

「浜岡原発を考える静岡ネットワーク」による県危機管理部への要請行動に同席。杉山からは、「県と中部電力の安全協定には、川勝知事が主張するUPZ区域(31km圏内)の自治体の判断を加えると明記すべき」「津波対策に要した費用は、値上げが続く電力料金で賄われることを県民に伝えるべきである」と発言しました。



県危機管理部防災室

## ●東日本大震災・福島原発事故による避難指定解除地域訪問 復興はまだ緒に付いたばかり(4/21)



自治労福島県本部主催、「大震災10周年復興祈念事業・集会」参加のため、4月21日福島市を訪問。22日のフィールドワークでは、8年以上立ち入れなかった福島原発周辺を見学。震災当時から商品がそのままとなっているコナカ、しまむら、100円ショップが印象的でした。福島県沿岸部の復興の遅れの原因はやはり原発災害です。福島第一原発のある大熊町では3年前にやっと一部居住への帰宅が可能になったばかりです。半壊以上の建物は行政で撤去したため多くの家屋が取り壊されましたが、震災当時のままの建物も多く見かけました。現在は、多くの農地や空き地に太陽光パネルが

設置され、自然エネルギー発電地帯になっていることも確認できました。大熊町役場では、多くの早期退職者が発生し、今もその流れは続いているそうです。

## ●リニア質問書への国の回答・院内集会(6/2)

国土交通省、環境省からリニアの質問書の回答を聞く院内集会に静岡の自治体議員らと参加。国土交通省へは生態系の専門家会議の公開、田代ダムの水利権の民間同士の貸し借りの可否を質問、環境省へは国立公園内の工事の問題点などを質問しました。



リニア政府交渉院内集会  
衆議院第2議員会館

## ●広島県教育委員会と中高一貫・全寮制・国際バカロレア認定(※) ・広島県立叡智学園視察(4/26.27)

所属会派としての視察前に、原爆被害を解説している広島平和記念資料館を見学。ウクライナ侵攻でロシアが核の使用をちらつかせている中、被爆直後の広島の写真を見て原爆被害の悲惨さを再認識。午後は広島県教育委員会との意見交換。広島県は「広島で学んでみたい。日本一教育県の実現」を目標に様々な改革に取り組んでいました。翌日はフェリーで大崎上島へ移動し、広島叡智(I伊)学園を視察。公立唯一の「国際バカロレア認定校」、中高一貫、全寮制、開校4年目。小学校を卒業したばかりの子が寮生活。数学、理科の2教科が英語での授業、大学受験対策を行わない、塾には通わないなどが特徴的でした。



広島原爆ドーム前

## ●外国人技能実習制度廃止街頭宣伝活動(6/7)

静岡駅地下道で外国人技能実習制度廃止の全国一斉キャラバン行動に参加。実習先からの暴力、過酷な労働など人権侵害があっても職を代われないことから、まるで奴隷制度のようだと指摘されています。業界の性善説に立った現行制度の抜本的見直しが必要です。



静岡駅北口地下道

## ●関西生コン支部・労組支援集会(3/26)

関西生コン支部・労組支援の集会に参加。安全活動・法令違反摘発活動、要請行動が威力業務妨害にあたりとされ、役員が逮捕されたことはまさに不当な組合弾圧です。正当な労組活動の保障、人権侵害に抗する取組みを今後も支援していきます。



労働会館会議室

## ●私鉄総連・神甲静ブロック公共交通キャンペーン(5/16)

県議会の質問で取り上げた「高校生の自宅からの通学の保障」、「高齢者の通院・買い物難民を発生させないための公共交通支援」について、会派の小長井県議、伴県議、私鉄総連の皆さんと一緒に訴えました。(神甲静：神奈川、山梨県、静岡県)



静岡駅北口地下道

## ●世界気候危機アクション

静岡市役所玄関前で世界気候アクションに参加。気候変動対策はあらゆる施策にかかわる喫緊のテーマです。政治の場でしっかり取り組んでいきます。



静岡市役所前

## ●県共闘メーデーに参加し県政報告(5/1)

5月1日は労働者の祭典メーデーです。労働者、国民の暮らしは、厳しさを増しています。コロナ対策強化、ウクライナ危機への対応、物価対策についての県政報告を行いました。引き続きしっかり取り組んでいきます。



森下公園

(※)国際バカロレア: 世界共通の大学受験資格を得られる国際的教育プログラム。私立が先行し、県内では加藤学園、暁秀高校、サレジオ高校が認定されている。

## ●市営有明団地内「交流スペースなごみ」移転オープン(4/1)

従来よりも広い場所に移転した「交流スペースなごみ」の開所式で挨拶。4月から毎月第3土曜日にはフリーマーケットも開催。富士見学区全体の交流の場所ができました。



なごみ(有明団地内)

## ●富士見学区のフリーマーケット(4/23)

有明団地広場内「交流スペースなごみ」で開催された「富士見学区・フリーマーケット」に町内の方と3人で出展。私はカンボジアとタイの土産品や、書籍類を出品しました。今年度から、毎月第3土曜日に開催されることになりました。



有明団地広場

## ●「掘り出し物フェスタ」(6/21)

### 高松海岸清掃(第3日曜)に参加

会場の都合でここ2年開催できていなかった「ゴミゼロフェスタ」が「掘り出し物フェスタ」として、リバティールゾート久能山の立体駐車場で開催されました。ボランティアとして協力しました。また、第3日曜日開催の高松海岸清掃にも毎回参加しています。



リバティールゾート久能山



高松海岸

## 6R県民運動の実践

できることから  
始めよう!

海洋プラスチック  
ごみ防止  
6R県民運動



## 編集後記

5月31日、通学時間帯に駿河区上川原とみずほの境の信号のない交差点で、自転車と軽自動車が発生し、女子高校生が意識不明の重体となる事故が発生。2日後事故現場に行き、近所の方に状況を確認。日頃から連携している長沼市議とともに女子高校生の回復と再発防止の対応を確認していきます。

物価・コロナ対策として、県の補正予算で、プレミアム付電子食事券(10000円で12500円分飲食可能)が販売されます。店舗側の負担はどうか、高齢者でもわかりやすいものなのか。県民が使いやすいものとなるよう要請していきます。

6月9日、豊田3丁目に家電量販店「ケースデンキ」がオープンしました。10年間ほど旧静岡市で用地を探していたそうです。周辺の渋滞など問題点があれば対応を要請していきます。

6月27日の厚生委員会で、子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨での重篤な副反応が生じた場合の県内治療病院の有無を質問。協力医療機関はあるが治療実績については把握できていないとの答弁。副反応を治療してもらえる病院の必要性を強く訴えました。

## ■杉山あつし事務所

今後も、皆さんからの様々な提案・要望をお待ちしています。

静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13

TEL:054-282-0143

FAX:054-282-0143

携帯電話:090-1279-1443

MAIL:kycdh891@yahoo.co.jp



ID 461voxcx